

要 旨

試験委託者

環境庁

表 題

1,3-ジクロロプロペンのオオミジンコ (*Daphnia magna*) に対する急性遊泳阻害試験

試験番号

1999-生18

試験方法

本試験は、OECD 化学品テストガイドライン No. 202 「ミジンコ類，急性遊泳阻害試験および繁殖試験」（1984年）に準拠して実施した。

- 1) 被験物質： 1,3-ジクロロプロペン
- 2) 暴露方式： 止水式
- 3) 供試生物： オオミジンコ (*Daphnia magna*)
- 4) 暴露期間： 48時間
- 5) 試験濃度(設定値)：
対照区, 1.0, 1.8, 3.2, 5.6, 10.0 mg/L, 助剤対照区 (メタノール)
公比 ; 1.8、(助剤対照区、メタノール: 100 μ L/L)
- 6) 試験液量： 100 mL/容器 (密閉容器)
- 7) 連数： 4 容器/濃度区
- 8) 供試生物数： 20頭/濃度区 (5頭/容器)
- 9) 試験温度： 20 \pm 1 $^{\circ}$ C
- 10) 照明： 16時間明/8時間暗
- 11) 分析法： GC-MS 法

結 果

1) 試験液中の被験物質濃度

被験物質の測定濃度が設定値の±20%を超えたものがあったため、各影響濃度の算出には測定値（幾何平均値）を採用した。

2) 24 時間暴露後の結果

半数遊泳阻害濃度 (EiC50) : 3.23 mg/L (95%信頼区間 : 2.91~3.76 mg/L)

最大無作用濃度 (NOECi) : 1.56 mg/L

100%阻害最低濃度 : 4.91 mg/L

3) 48 時間暴露後の結果

半数遊泳阻害濃度 (EiC50) : 1.23 mg/L (95%信頼区間 : 0.89~1.56 mg/L)

最大無作用濃度 (NOECi) : 0.89 mg/L

100%阻害最低濃度 : 1.56 mg/L